



令和6年度1学期がスタートし、約一ヶ月が経ちました。先月は、毎日様々な行事がありました。慌ただしい4月を終え、5月当初の連休はゆっくりと心と体を休めることができたでしょうか。新緑がまぶしい時期となってきました。気持ちよく5月を過ごしていくことができればと思います。

## 避難訓練

4月22日（月）に地震発生を想定した「避難訓練」を行いました。当日は朝まで雨も降っていたこともあり、校庭ではなくアリーナへ避難しました。放送からきちんと避難場所を聞きとり、安全かつ迅速に避難する姿が見られました。

安心・安全のために普段の生活から心掛けたいこととして学校長より次のような話がありました。

①「万が一を考える。普段当たり前と思っていることを捉え直す。」

②「注意深く直面して抵抗する。自分で考えて、自分の弱い心に抵抗できるように。」

これらにより、一人ひとりが成長していることが実感でき、安心・安全な学校へとさらに変わっていく。既に4月から皆さんのエネルギーで学校は変わってきている。

## 交通安全教室

4月26日（金）に交通安全教室を行いました。実際の場面を想定した交通安全に関わる映像を見て考えたり、警察や交通安全協会の方からお話を聞いたりしました。また、傘を差したり、スマホを操作したりしながら自転車に乗ることの危なさなどについて、実演を交えながらわかりやすく指導していただきました。警察の方から次のようなお話がありました。



○5月は事故が多い時期である。被害者にも加害者にもならないように注意する。

○自転車は車であることを意識する。事故に遭わない、遭わせないようにする。

○信号が青に変わって道路を横断する際、左右の確認に加え、後方も確認すること。

その後、「警察や交通安全協会の方々は、私たちをいつも見守ってくださっている。大事なことを忘れないように見守ってくださっている」と学校長から話がありました。

改めて交通安全について見直す機会となりました。十分気をつけ余裕をもって登下校等を行っていくことができればと思います。

## 吃音に関する全校授業

4月25日（木）に東御市民病院の言語聴覚士の餅田亜希子先生、小諸養護学校高山祐二郎先生にご来校いただき、吃音について教えていただきました。

餅田先生と高山先生からのお話を受け、気付いたことや考えたこと、誰もが楽しく毎日の生活を送ることができるために自分ができることなどについて意見交換をしました。

### 【授業後の感想】

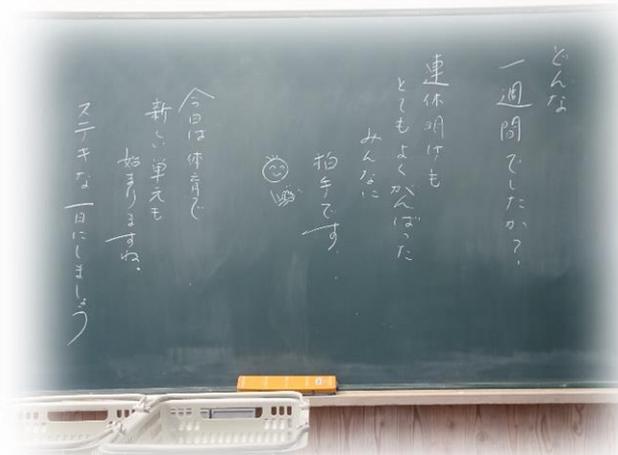
- ・吃音のことだけでなく、人はたくさんの個性や特徴をもっているのを受け入れて、一人ひとりの個性を大切にし、人とかわりあっていきたいなどと改めて思いました。それぞれが、得意・苦手を高められるような話し方や環境をみんなで作っていききたいです。
- ・僕は昨年の一回目の授業で「吃音の人には特別扱いせず普通に接すればいいんだ」と思っていました。しかし、今日の二回目の授業では「普通に接しよう意識するのもまた特別扱いになってしまうんだ。吃音とか吃音じゃないとか関係なく接すればいいんだ。」と考えをより深いものにすることができました。餅田先生や高山先生がおっしゃっていたようにそれぞれの個性を尊重して一人一人が生きやすい社会を創っていききたいと思います。



## 部活動は自分を磨く場

4月26日（金）には「部活動発足会」が行われ、1年生も各部に加わりました。本校では、部活動を、＜生活の重点＞『場を清め、礼を正し、時を守る』の具現の場として捉えるとともに、「自分を磨く場」と捉え、同じ目標を持った仲間と協力して、互いに高め合う活動としてほしいと願っています。

いよいよ中体連の夏の大会や各種コンクール等が近づいてきました。3年生にとっては総まとめの時期となります。練習試合等も数多く行われています。仲間と共に取り組める喜びを感じ、互いに切磋琢磨し成長して欲しいと思います。



「連休は〇〇したよ」「久しぶりだね」と声を掛け合いはりきって始まった5月。楽しいとともに少し疲れも出てきた週末の朝。教室に入ると笑顔になる一中生の姿がありました。お子さんの気持ちに寄り添い、共に学び、共に素敵な時間が過ごせるよう、職員一同引き続き精一杯取り組んでまいります。

